

平成30年1月30日(火)

# 千葉市における 幼保小連携・接続の取組み

千葉市こども未来局  
こども未来部幼保支援課

# 幼保小連携・接続を取り巻く背景①

## ○ 幼稚園教育要領、保育所保育指針、 幼保連携型認定こども園教育・保育要領等の改訂

- ◆ 29年3月に10年ぶりに改訂され、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の一層の重要性が示されました。  
(幼稚園教育要領等はH30.4、小学校学習指導要領はH32.4より全面実施)

幼稚園教育要領（抜粋） ※保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領にも同内容の記載

- 幼稚園教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

小学校学習指導要領（抜粋）

- 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。
- 特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うよう努めるものとする。

# 幼保小連携・接続を取り巻く背景②

## ○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を明確化

- ◆ 5領域のねらい及び内容に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている幼児の5歳児終了時の具体的な姿であり、指導を行う際に考慮するもの
- ◆ 幼稚園・保育所等の職員と小学校の教員が5歳児終了時の姿を共有化することにより、幼保・小の接続の一層の強化が図られることを期待

健康な  
心と体

自立心

協同性

道徳性・  
規範意識の  
芽生え

社会生活  
との関わり

思考力の  
芽生え

自然との関わり  
・生命尊重

数量・図形、  
文字等への  
関心・感覚

言葉による  
伝えあい

豊かな感性  
と表現



# 千葉市幼保小連携・接続検討会議

- 私立幼稚園、民間保育園、公立保育所、小学校の代表者等からなる「幼保小連携・接続検討会議」を設置（平成28年3月）
- ◆ 市内の幼稚園・保育所・認定こども園に通うすべての児童が、小学校接続を意識した質の高い幼児教育を受けられる状態を目指し、検討を開始

【委員名簿】

（平成30年1月時点）

委員	めぐみ幼稚園 園長 杉森 信幸
	由田学園千葉幼稚園 園長 山崎 佳世
	すずらん保育園 園長 松浦 伸治
	まどか保育園 園長 宇野 直樹
	千葉市立緑町保育所長
	千葉市立千城台東第一保育所長
	千葉市立都小学校長
	千葉市立幕張小学校長
	千葉市教育委員会学校教育部指導課長
	千葉市教育委員会学校教育部教育センター 所長
	千葉市こども未来局幼保支援課 幼児教育・保育政策担当課長
	千葉市こども未来局幼保運営課 保育所指導担当課長
助言者	植草学園短期大学 福祉学科 教授 佐藤 慎二
	千葉大学 教育学部 教授 松寄 洋子



# 千葉市における現状・課題

## ○ 幼保小連携・接続実態調査（H28.7～9 実施）

目的	千葉市の幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携・接続に関する現状及び意識を把握し、今度の具体的方策の検討資料とする。	
	幼・保調査	小学校調査
調査対象	市内全ての幼稚園・保育所・認定こども園：242園	市内全ての市立小学校：112校
回答数	242件 <u>(100%)</u>	112校 <u>(100%)</u>

	現状	課題
子どもを中心とした交流活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多くの幼・保と小学校の間で交流活動が実施されており、今後の実施ニーズも高い。</li> <li>● 園児の入学に向けた期待や興味・関心の高揚、小学生の年長者としての自覚や意識向上に寄与。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼保と小学校における互惠性の向上</li> <li>● 新設民間保育園も可能な限り機会を得られる方法の検討</li> </ul>
教職員同士の連携活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 相互の教育・保育や生活に対する理解を深めるための活動はあまり普及していないが、そうした活動に対するニーズが高い。</li> <li>● さらに、接続期カリキュラムに関する意見交換に対するニーズも高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼児教育と小学校教育の接続強化を目的とした連携活動の普及と定着化</li> <li>● 幼保小間の「学び合いの場」(相互参観、意見交換、合同研修等)の充実</li> </ul>
幼児教育と小学校教育の接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼保においても小学校においても、円滑な接続を意図した様々な取組みが行われている。</li> <li>● 入学時点の子どもの姿に小学校が様々な課題を感じているが、幼保と課題認識を共有できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 卒園(入学)時点の子どもの姿に対する認識を、幼保小間で共有</li> <li>● 幼保及び小学校が円滑な接続のための取組みを意図的・計画的に実施できるよう、接続期カリキュラムを普及</li> </ul>

# 千葉市における幼保小連携・接続の取組み

---

## ○ 「アプローチカリキュラム」の作成・普及

- ◆ モデル実施園を設定し、5歳児後半に小学校小への接続を意識して実施する「アプローチカリキュラム」を作成・実践するとともに、本市の「モデルカリキュラム」を作成し、その普及を図る。

## ○ 幼保小の連携・交流活動の普及・定着化

- ◆ モデル実施園における近隣小学校との交流や、教育委員会における推進指定校の取組みに参画し、教職員同士の「学び合いの充実」や、子どもを中心とした交流活動の定着化・活性化を図る。

## ○ 家庭と保護者に対する啓発・支援

- ◆ 主に5歳児の保護者に対し、幼児教育における家庭と保護者の役割、小学校入学に向けて家庭生活上で留意すべき事項等に関するパンフレットの配布や講演会の開催等の啓発・支援を実施



# 「アプローチカリキュラム」の作成・普及①

## ○ モデル実施園における「アプローチカリキュラム」の作成・実践

- ◆ 各園が実践している指導計画等の5歳児後半部分について、新しい幼稚園教育要領等に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた「アプローチカリキュラム」として見直し
- ◆ 公開研修会を開催し、取組みの成果を近隣園や小学校に公開
- ◆ 次年度に実践内容の検証・振り返り（卒園児の様子を小学校と共有など）

## ○ 幼保小接続カリキュラムコーディネーターの配置

- ◆ 千葉大学教育学部と連携し、幼児教育を専門とする大学教員がモデル実施園における「アプローチカリキュラム」作成・実践等を支援

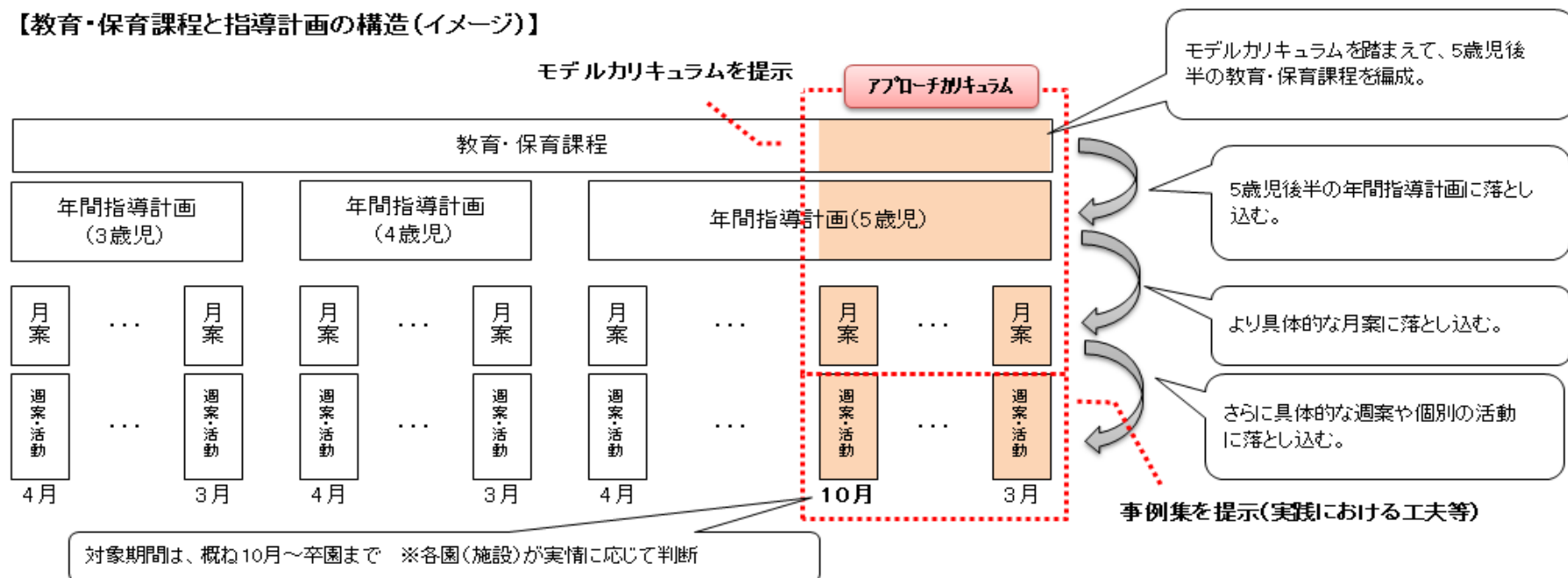
### 【モデル実施園一覧】

	私立幼稚園	民間保育園	公立保育所
園(施設)名	あやめ台幼稚園	若竹保育園	幕張第二保育所
コーディネーター	冨田 久枝	砂上 史子	松崎 洋子

# 「アプローチカリキュラム」の作成・普及②

- アプローチカリキュラムとは、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりとしながら、幼児の得意なところや更に伸ばしたいところを見極め、それらに応じた関わりをしたり、より自立的・協同的な活動を促したりするなど、意図的・計画的な環境の構成に基づいた総合的な指導の中で、バランスよく「幼児教育において育みたい資質・能力」を育む時期のカリキュラム。
- 各園の教育・保育課程及び指導計画の5歳児後半部分(おおむね10月から3月)に組み込むことで、カリキュラムマネジメント(PDCAサイクル)が機能しやすくなるとともに、2年目以降、接続期以前も含めた教育・保育課程及び指導計画全体の改善への波及も期待する。
- アプローチカリキュラムの作成にあたっては、小学校との意見交換や「学び合いの場」の設置などにより、幼保と小の双方の接続期カリキュラム(アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム)の相互理解により、卒園時点の幼児の姿について、認識の共有化を図る必要がある。小学校教育の前倒しを目指すものではないことに留意が必要。

## 【教育・保育課程と指導計画の構造(イメージ)】





# 「アプローチカリキュラム」の作成・普及③

---

## ○「モデルカリキュラム」の策定・普及

- ◆ モデル実施園の実践状況を踏まえ、幼保小連携・接続検討会議において、モデルカリキュラムを策定
  - ◆ すべての幼稚園・保育所・認定こども園等でのアプローチカリキュラム作成の普及に努める。
- ※ モデルカリキュラムは、あくまでも参考としてお示しするもので、各園の教育方針や創意工夫を妨げるものではありません。

### 【スケジュール（予定）】

平成30年3月 モデルカリキュラム作成  
⇒ 市ホームページ掲載

5月頃 モデルカリキュラム印刷版の配布

7月頃 アプローチカリキュラム普及イベント開催

**おわりに・・・**

- 市内の幼稚園・保育所・認定こども園に通うすべての児童が、小学校接続を意識した質の高い幼児教育が受けられる状態を目指して、取組みを進めていきます！！**
- 本日の公開研修会や、3月策定予定のモデルカリキュラムを参考に、各園でのアプローチカリキュラムの作成をお願いします！！**

